



能楽フェスティバル
2017
|
2020

第3回シンポジウム

世界と能楽
能楽の国際化を問う

国内外で
上演される能楽・・・



▲世界遺産・富士山を背景に
能「羽衣」シテ 山階彌右衛門



▲フランス・フェール城にて 能「羽衣」シテ 観世清和

2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、能楽協会がおくるシンポジウム第3弾。今回は、過去テーマとした「能楽の普遍的価値」「オリンピックを軸とした文化の力」を更に発展させ、「能楽の国際化」を主題としております。

人や文化の多様性を内包した総合芸術である「能楽」は、その長い歴史や芸術性により、ユネスコから無形文化遺産の登録を受けました。

「能楽」が世界ブランドとして注目される一方、誇るべき伝統文化を理解し、発信するスキルを身に付けることも国際化の課題ではないでしょうか。

本シンポジウムを通して、より多くの方が能楽に興味を持ち、魅力を発見して下さる機会になることを願っております。

日時 平成30年1月26日(金)
18:30～20:30(開場17:30)

会場 国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1

プログラム

- ◆開会式 辞／観世 鍊之丞[能楽協会 理事長]
- ◆基調講演 松浦 晃一郎[第8代ユネスコ事務局長]
- ◆英作文コンクール表彰
 - 選考理由発表／審査委員長 近藤 誠一[元文化庁長官]
 - 受賞者スピーチ
- ◆実演 / 能「枕慈童」シテ 高橋 忍

参加費 無料(先着順・要事前申込)

申込み締め切り 平成30年1月19日(金)

特別企画

能楽 英作文コンクール

「能楽の国際化」をテーマとした英作文を募集しております。
最優秀賞受賞者は、1/26シンポジウムで表彰、自身の作文を能舞台上でスピーチ頂きます。
詳細は能楽協会公式サイト
<http://www.nohgaku.or.jp/>をご覧ください。

◎応募締切:11月2日(木)

主催:公益社団法人能楽協会 共催:一般社団法人日本能楽会
後援:文化庁、東京都 協力:独立行政法人日本芸術文化振興会(国立能楽堂)

[富士山]写真提供:富士山静養園/[フランス]撮影:小野祐次



松浦 晃一郎 [第8代ユネスコ事務局長]



1937年生まれ。1959年外務省入省。経済協力局長、北米局長、外務審議官(先進国サミットのシェルバ)を経て1994年より駐仏大使。1999年から2009年までアジア初のユネスコ事務局長。2011年立命館大学より学術博士号取得。現在はアフリカ協会会長、立命館大学特別招聘教授、株式会社パソナグループ顧問等。『国際人のすすめ』、『世界遺産』ユネスコ事務局長は訴える』、『アフリカの曙光』などのほか、英語および仏語による著書も多数。2003年モスクワ大学名誉博士号、2009年フランス・レジオン・ドヌール勲章グラン・オフィシエ章受章、2012年瑞宝大綬章受章、更に文化、科学、文明間の対話等の分野における国際協力の業績に鑑み、世界各国より70以上に上がる勲章、50以上の名誉博士号、いくつもの名誉市民権等を授与。

近藤 誠一 [近藤文化・外交研究所 代表(元文化庁長官)]



1946年生まれ。東京大学教養学部卒業後、1972年外務省入省。本省で経済、広報文化交流などを担当。国際報道課長、在フィリピン大使館参事官、在米国大使館参事官、同公使、経済局参事官、同審議官、OECD(経済協力開発機構)事務次長、広報文化交流部長、国際貿易・経済担当大使等を歴任。2006～2008年ユネスコ日本政府代表部特命全権大使、2008年駐デンマーク特命全権大使。2010～2013年文化庁長官。退官後、外務省参与、東京芸大客員教授、京都市芸術文化協会理事長、東京都交響楽団理事長、日本舞踊協会会長等を務める。『FUJISAN 世界遺産への道』毎日新聞社(2014年)等著書・論文多数。2006年フランス・レジオン・ドヌール勲章シュバリエ章、2014年瑞宝重光章をはじめ勲章を多数授与。

観世 鏡之丞 [公益社団法人能楽協会 理事長]



能楽師(シテ方観世流)。1956年生まれ。八世観世鏡之丞静雪の長男。伯父観世寿夫、及び父に師事。2002年、九世鏡之丞を襲名。2008年度日本芸術院賞、2011年紫綬褒章を受章。重要無形文化財保持者(総合認定)。公益社団法人鏡仙会 理事長、公益社団法人能楽協会 理事長。東京を中心に全国で活躍するほか、ニューヨーク、ポーランド、韓国等、海外公演にも多く参加している。またこれまでにポール・クローデルの詩を題材にした創作能「薔薇の名一長谷寺の牡丹」、ショパン生誕200周年記念新作能「調律師-ショパンの能」といった新作能でシテや演出を勤めるほか、武満徹の現代音楽とコラボレーションした能舞「水の曲」に出演するなど、古典を越えた世界でも幅広く活躍。

能 金春流「枕蓑童」



©公益社団法人能楽協会

シテ 高橋 忍
ワキ 宝生 欣哉
笛 寺井 宏明
小鼓 大倉源次郎
大鼓 國川 純
太鼓 小寺 佐七
後見 辻井 八郎
地頭 本田 光洋

アクセス

国立能楽堂 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1
Tel:03-3423-1331

JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」より徒歩5分
都営地下鉄大江戸線「国立競技場駅」より徒歩5分
東京メトロ副都心線「北参道駅」より徒歩7分



※駐車場がございませんのでお車でのご来場はご遠慮下さい。

平成30年1月26日(金) シンポジウム 参加申込書

申込み締め切り:1月19日(金)

入場無料
(先着順・要事前申込)

申込方法

FAX:03-5925-3872

申込日 年 月 日

又は、能楽協会公式サイト内 専用メールフォームにてお申込み下さい。(http://www.nohgaku.or.jp/)

お名前		お名前		お名前	
ふりがな		ふりがな		ふりがな	
ご所属先 又は 勤務先 部署・役職		ご所属先 又は 勤務先 部署・役職		ご所属先 又は 勤務先 部署・役職	
※任意		※任意		※任意	
入場券郵送先	自宅	〒 ー			
	勤務先	[お名前:]			
※どちらかに○		電話	FAX	E-mail	

○お申し込み後、3週間程度で入場券を郵送致します。 ※ご入場の際は、入場券が必要となります。 ※万一届かない場合は、ご一報頂けますと幸甚に存じます。
○会場の都合上、定員に達し次第、受付を終了させて頂きます。尚、座席は一部関係者席として使用致します。
○頂いた個人情報は、弊協会プライバシーポリシーに則り厳重に管理し、本事業のご連絡、ご同意事項以外には使用致しません。
○プログラムは予告なしに変更する場合がございます。

主催・問合せ先 公益社団法人能楽協会 TEL:03-5925-3871(平日10:00~16:00) http://www.nohgaku.or.jp/

※本事業は、多くの方の御協賛を得て開催させて頂いております。弊協会の目的及び事業に御賛同頂けます皆様からの御寄付を承っております。何卒宜しくお願い申し上げます。